C-3「横浜の環境中のマイクロプラスチック」

～海洋プラスチック問題と循環型社会について考えよう～

講義担当：みどり環境局環境科学研究所

講座対象者	■小学校低学年　■小学校中学年　■小学校高学年 ■放課後施設利用児童　■中学生　■高校生　■大学生　■地域一般		
授業活用例	小学校：「生活」、「理科」、「社会」、「家庭」、「総合的な学習の時間」、「道徳」 中学校：「理科」、「社会」、「技術・家庭」、「総合的な学習の時間」、「道徳」		
関連のある SDGsのゴール	12、14	オンライン授業	□可　■不可
対応可能曜日	■平日　□休日　□その他（　　曜日）		
対応時間	10～16 時		
年間実施上限数	6回		
講座実施方法 ※（　）は場所等	■講義（屋内：パソコン、プロジェクターが利用できる教室、会議室等） ■ワークショップ（同上） □自然体験（　　）		
講座所要時間	45～60 分（時間は応相談）		
実施条件、必要な準備等	パソコン、プロジェクターの設備があることが望ましいです。		

講座内容

1　本講座の目的・ねらい

環境中のマイクロプラスチック・プラスチックごみ問題について説明します。また、マイクロプラスチックやプラスチックごみによる環境汚染を防ぐために、私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。

2　内容（実施時間に応じて内容、時間を調整します。）

（1）【講義】《パワーポイント》マイクロプラスチックについて（30 分）

マイクロプラスチックやプラスチックごみ問題について説明します。世界の動向や、横浜の状況についてお伝えします。またこの環境問題について、私たちにどんなことができるか一緒に考えます。

（2）【実習】《屋内》マイクロプラスチックを観察してみよう（15 分）

研究所での海岸のマイクロプラスチック調査の模擬体験を行います。実際の横浜の海岸の砂の中から、マイクロプラスチックを探し、観察・記録してもらいます。実習を通し、マイクロプラスチックとその調査方法について理解を深めます。

※小学校低学年向けに内容の変更が可能です。お気軽にご相談下さい。

問合せ先（みどり環境局環境科学研究所　TEL：045-453-2550
メールアドレス：mk-kanken@city.yokohama.lg.jp）